

平成20年度熊本県豊かな体験活動推進事業「農山漁村におけるふるさと生活体験推進校」

における活動の概要と成果と課題

1 体験活動の概要

- (1) 実施日及び実施期間 平成20年8月4日(月)～7日(木)(3泊4日)
(2) 実施場所 天草市御所浦町(御所浦島、牧島、黒島) 漁村民泊(三軒)
(3) 実施学年及び人数 4, 5, 6年児童(男子8名 女子5名 計13名)
(4) 主な体験活動

① 自然に関わる体験活動

- ・ 海辺の体験活動(無人島散策・海水浴)
無人島を散策し海の自然や生物の様子を知る。
- ・ イルカ見学
自然の海に生きるイルカの様子を観察する。



無人島「黒島」にて



イルカ見学



とんとこ漁体験

② 勤労生産に関わる体験活動

- ・ とんとこ漁体験
島の伝承漁法「とんとこ漁」の体験。
漁船に乗り込み実際の漁を体験する。
- ・ 養殖給餌体験
養殖の様子を見学し、説明を受けながら給餌体験を行う。
- ・ 魚さばき体験
漁師さんの指導で、獲れた魚をさばき、刺身にして食する。



養殖給餌体験

③ 文化や芸術に関わる体験活動

- ・ 化石発掘体験
白亜紀資料館の見学と実際に化石発掘を体験し、地球の歴史について学ぶ。
- ・ 伝馬船の櫓漕ぎ体験
一昔前は島の生活になくはならなかった小舟で櫓漕ぎ体験をし、日本独自の文化に触れる。



伝馬船櫓漕ぎ体験



魚さばき体験

④ 交流に関わる体験活動

- ・ 民泊先の仕事の手伝いや、食事作りなどをおして、海の地方の暮らしを知る。
- ・ 民泊での手伝いや夕食作り(たこ料理や魚料理等)等を通じた地域住民との交流。



白亜紀資料館見学



化石発掘



民泊先の方と



漁船に乗って海水浴へ



「たこ飯おいしい！」



「小鱈がくれたよー！」

2 体験活動の成果

- 海辺での生活や無人島での散策等を通し、自分たちが生活している身の回りの自然との違いを知り、海の自然や生物について興味を持つことができた。
- 民泊先の仕事の手伝いや、食事作りなどをとおして、海の地方の暮らしを知ることができた。
- 白亜紀資料館の見学と実際に化石発掘を体験し、地球の歴史について学ぶことができた。
- 島の伝承漁法「とんとこ漁」を体験。漁船に乗り込み実際の漁を体験したり、養殖の様子を見学し、給餌体験を行ったりして、漁業の厳しさや楽しさを体験することができた。
- 一昔前は島の生活になくはならなかった小舟で櫓漕ぎ体験をし、日本独自の文化に触れることができた。
- 様々な人との交流を通してコミュニケーション能力を育て、社会性を育てることができた。
- 異なる文化や社会、価値観の存在を理解し尊重する態度や互いの協調を図りながら、共に生きようとする態度を育成することができた。
- 地域の人や自然、文化に触れる体験的な活動を通して、多様な見方や考え方、感じ方を深め、豊かな心を育てるとともに、自然や生命を大切にすることを育てることができた。
- 御所浦アイランドツーリズムの方に、計画から準備・実施に至るまでお世話になり、受け入れ先のよさを十分に生かした充実した体験活動にすることができた。また、御所浦アイランドツーリズムの方から御所浦の方々との連絡調整を十分行っていただいたことで、活動すべてにおいて、様々な協力を得ることができた。

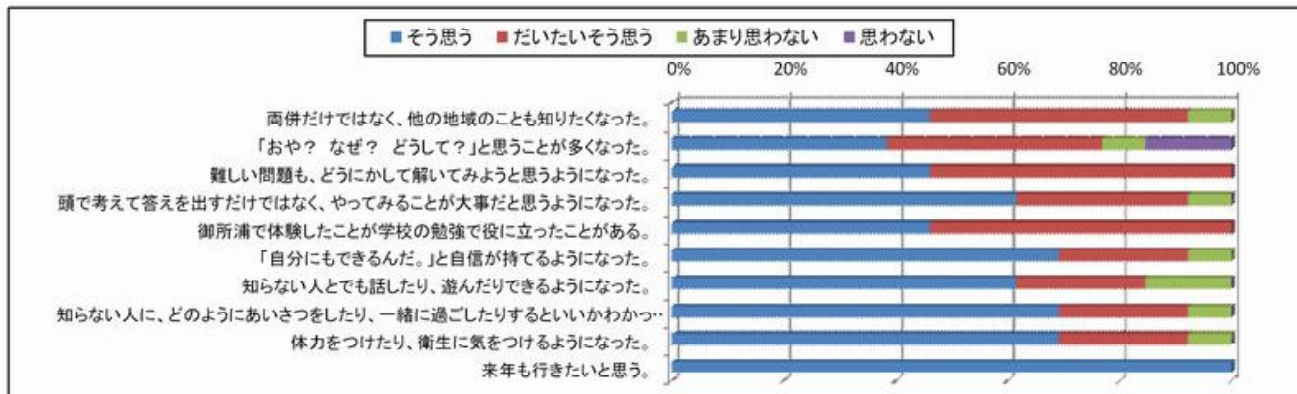


御所浦の皆さんの見送りに涙、涙

3 今後の課題等

- 初めてこの事業を受けるにあたって、計画の段階で見通しがつきにくい点があり、事前の予算の使途計画や受入地域との連携等についての課題が見られた。
- 民泊の受け入れ先の方は、安全面についても十分な配慮を行ってくださっていたが、事故等についてはやはり心配する点がある。民泊の受け入れ先の方とも事前の入念な打合せ等（保障問題等も含め）が必要である。

(参考資料) 御所浦の体験をしたことで、その後の生活や学習にどんなことが役に立ちましたか。



・おばちゃんが優しくしてくださったので、私も優しくなれた。 ・困っている人を助けられるようになった。 ・あいさつは人の心を元気にするということがわかったので、大事にしている。 ・一つの方法だけではなく、他の方法も考えること。 ・班のリーダーをしたので今に役に立っている。 ・家族やみんなの大切さがわかった。 ・調理実習で。